

【特別展】 島崎藤村自筆原稿展

当館所蔵の島崎藤村自筆の原稿を一挙公開します。藤村の筆遣いや推敲の跡など、当時の息遣いがビビッドに伝わってきます。この機会にぜひ大勢の皆様にご覧いただきたいと思います。

「特別展」のお知らせや取材にご協力くださいますようお願いいたします。

(1) 日時：令和3年8月1日（日）～令和3年9月30日（木）

(2) 場所：小諸市立藤村記念館（懷古園内）

(3) 内容：展示作品

『壁』、『飯倉だより』から「虎に騎る人」「『遊戯』の世界」、『春を待ちつゝ』から「トルストイの晩年」、『消息』、『春』（複製）、『夜明け前』（複製）、『心心見春草』、『夜咄』、『南米その他の旅より歸りて』

※ 開催期間中は無休

※ 詳細は別紙チラシをご覧ください。

■問い合わせ先

小諸市立藤村記念館

TEL 0267-22-1130 Eメール toson@city.komoro.nagano.jp

その他のイベント・お知らせ情報

第79回「藤村忌」——花と歌を捧げるつどい——

日時：令和3年8月22日（日） 午前10時30分～午後12時15分

場所：小諸市文化会館ホール

※事前の申込は不要です。どなたでも参加できます。

特別展

島崎藤村白筆原稿展

令和3年8月1日(日)～9月30日(木)

小諸市立藤村記念館

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】懐古園共通券 400円(小中 150円)
(団体 20名以上は共通券 300円)

【休館日】特別展期間中は無休

〒384-0804 長野県小諸市丁 315 番地(懐古園内)
TEL/FAX 0267-22-1130

開催中の催し案内

「藤村忌」

— 花と歌を捧げるつどい —

◇日時 令和3年8月22日(日)
午前10時30分より

◇場所 小諸市文化会館ホール
(JR 小海線「乙女駅」下車徒歩約4分)

事前申し込み不要、どなたでも参加できます。

特別展

島崎藤村自筆原稿展

令和3年8月1日（日）～9月30日（木）

展示リスト

- ◇『春』（複製）
明治41年4月7日から8月19日「東京朝日新聞」に連載
明治41年10月18日「緑蔭叢書」第二篇として自費出版された
『破壊』に次ぐ第二の長編小説。
- ◇『壁』
初出は、明治41年10月「早稲田文学」。明治42年12月7日
第二短編集「藤村集」（博文館刊）に収められている。
- ◇『飯倉だより』
第三感想集。大正11年9月5日、アルス刊。
この中から「虎に騎る人」、「遊戯」の世界」を展示。
- ◇『春を待ちつゝ』
第四感想集。大正14年3月8日、アルス刊。
この中から「トルストイの晩年」を展示。
- ◇『消息』
郷土社発行の雑誌「郷土」大正15年10月1日号
（藤村号）に寄稿を求められ執筆したもの。
- ◇『夜明け前』（複製）
藤村最後の長編小説。昭和4年4月から昭和10年10月まで7年の
長きにわたり『中央公論』に連載。
- ◇『心心見春草』
『新潮』第40年 昭和18年5月号。
新潮社40周年を記念して書かれたもの。
- ◇『夜咄』
第六感想集『桃の春』に収録されている。昭和11年6月5日、岩波
書店から発行された。藤村65歳。これが最後の感想集となる。
- ◇『南米その他の旅より歸りて』
東京朝日新聞 昭和12年5月2日～8日に掲載されたもの。



『春』初版 緑蔭叢書第二篇
口絵：和田英作



『飯倉だより』
初版カバー



『春を待ちつゝ』
初版カバー



「郷土社」
長野県北佐久郡大里村
宇西原 発行者土屋秀夫

小諸市立藤村記念館

【交通案内】

- ・「しなの鉄道」、「JR 小海線」小諸駅下車
徒歩5分（懐古園内）
- ・「上信越自動車道」小諸ICから約5分

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】懐古園共通券400円（小中150円）
（20名以上団体割引：共通券300円）

【休館日】特別展期間中は無休

TEL/FAX 0267-22-1130